

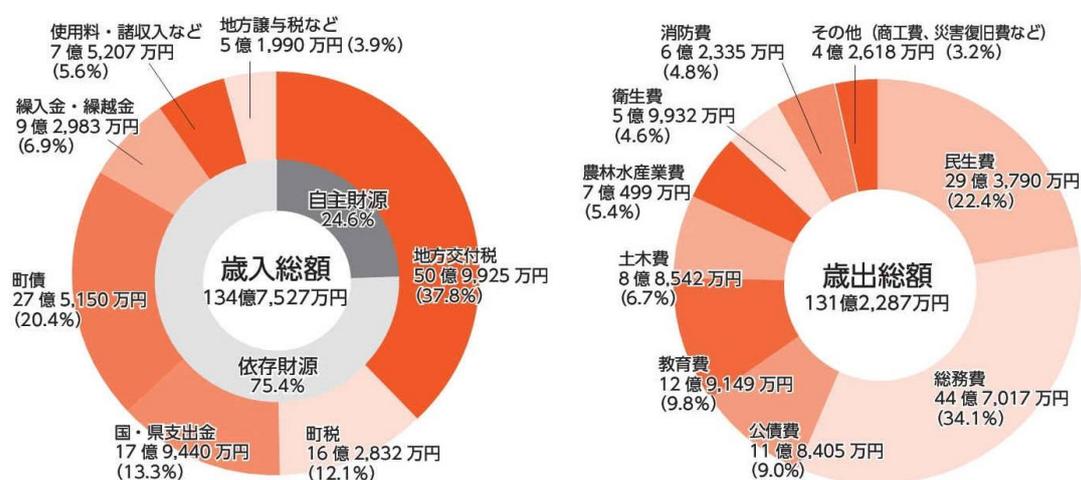
平成 30 年度決算のあらまし

平成 30 年度一般会計の歳入（収入）は 134 億 7,527 万円で、歳出（支出）は 131 億 2,287 万円であり、歳入歳出の差し引きは 3 億 5,240 万円となりました。

また、ここから令和元年度へ繰り越した事業の財源 9,049 万円を差し引いた実質的な収支は、2 億 6,191 万円の黒字となりました。

平成 29 年度と比較して、歳入では、地方交付税などが減少となった一方で、庁舎及び複合文化施設の建設に伴う町債などが増加し、総額で 24 億 4,134 万円増加しました。

また、歳出では、繰上償還などにより公債費が減少した一方で、庁舎及び複合文化施設の建設に伴う総務費や、新鶴小学校プール改築に伴う教育費が増加し、総額で 23 億 1,786 万円増加しました。



一般会計決算収支の状況

区分	平成30年度 決算額 (A)	平成29年度 決算額 (B)	増減額 (A)-(B)	増減率
歳入 (ア)	134億7,527万円	110億3,393万円	24億4,134万円	22.1%
歳出 (イ)	131億2,287万円	108億 501万円	23億1,786万円	21.5%
差引 (ウ) =(ア)-(イ)	3億5,240万円	2億2,892万円	1億2,348万円	—
翌年度へ繰り越す べき財源 (エ)	9,049万円	616万円	8,433万円	—
実質収支 =(ウ)-(エ)	2億6,191万円	2億2,276万円	3,915万円	—

特別会計の決算状況

特別会計は、特定の事業を行う場合に一般会計と区分して経理するもので、これらの平成30年度の決算額は次のとおりです。

会計名	歳入合計 (A)	歳出合計 (B)	差引額 (A)-(B)	
国民健康保険	26億8,103万円	25億 969万円	1億7,134万円	
介護保険	29億2,995万円	27億1,165万円	2億1,830万円	
後期高齢者医療	2億4,804万円	2億4,689万円	115万円	
下水道事業	6億3,409万円	6億2,380万円	1,029万円	
農業集落排水事業	1億 516万円	1億 213万円	303万円	
個別合併処理浄化槽事業	1,111万円	993万円	118万円	
工業団地造成事業	723万円	590万円	133万円	
住宅用地造成事業	1,747万円	1,501万円	246万円	
永井野財産区	18万円	15万円	3万円	
水道事業	収益的収支	4億9,576万円	4億4,363万円	5,213万円
	資本的収支	5,878万円	1億9,911万円	△1億4,033万円

町債残高（借入金）の状況

町債とは、主に町民生活の基盤である道路や公園、学校などの長期間にわたって町民の皆様にご利用いただく公共施設を整備するときに、国などから借りるお金のことです。

会計名	平成30年度末 残高	平成29年度末 残高	比較
一般会計	114億6,923万円	98億2,779万円	16億4,144万円
下水道事業特別会計	32億3,964万円	33億2,349万円	△8,385万円
農業集落排水事業特別会計	5億5,400万円	6億 271万円	△4,871万円
個別合併処理浄化槽事業特別会計	4,976万円	5,162万円	△186万円
水道事業会計	9億7,333万円	11億4,215万円	△1億6,882万円
合 計	162億8,596万円	149億4,776万円	13億3,820万円

町民1人当たり残高 約80万円（昨年は約72万円）
（平成31年3月31日現在人口 20,359人）

一般会計の積立金（基金）の状況

基金の名称	平成30年度末 保有額	平成29年度末 保有額	比較
財政調整基金	35億6,966万円	33億4,110万円	2億2,856万円
減債基金	6億2,515万円	6億2,501万円	14万円
公共施設整備基金	32億1,727万円	34億5,005万円	△2億3,278万円
国営会津宮川土地改良事業基金	7億3,581万円	8億1,668万円	△8,087万円
震災復興基金	2,206万円	2,205万円	1万円
その他基金	5億6,363万円	5億4,772万円	1,591万円
合 計	87億3,358万円	88億 261万円	6,903万円

町民1人当たり保有額 約43万円（昨年は約43万円）
（平成31年3月31日現在人口 20,359人）

（注）表示単位未満は四捨五入しており、積み上げ額と一致しない場合があります。